イベントインフォメーション

開催日時等は変更となる場合があります。
必ず事前にホームページを御覧ください。

松戸歯学部 オープンキャンパス

■ 開催日時

6/11（日）　10:00 ～ 15:00（予定）
7/16（日）　10:00 ～ 15:00（予定）
8/20（日）　10:00 ～ 17:00（予定）
10/15（日）　10:00 ～ 15:00（予定）

■ 主なプログラム

○ 学部概要説明　○ 個別進学相談　○ 模擬講義
○ 施設見学　○ う蝕治療体験　○ 在校生相談
○ 資料の配布・展示

松戸歯学部 キャンパスツアー

■ 開催日時

10:30～12:00（予定）

4/15（土）　5/13（土）　9/16（土）
11/11（土）　12/9（土）

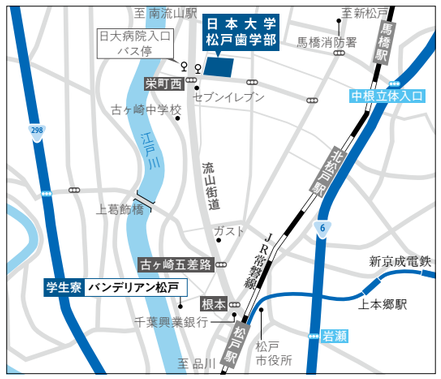
2024年
1/27（土）

■ 主なプログラム

○ 学部概要説明　○ 施設見学　○ 質疑応答

※松戸歯学部のオープンキャンパス及びオープンツアーの
お申し込みなどに関する詳しい情報はホームページを御覧ください。

アクセス&周辺マップ



- 松戸駅（JR常磐線快速・東京メトロ千代田線直通各駅停車・新京成電鉄）：
  西口2番バス乗り場（京成バス）「日大歯科病院」行きバス終点下車
  （バス約15分）
- 南流山駅（JR武蔵野線・つくばエクスプレス）：
  北口バス乗り場（京成バス）「松戸駅」行きバス「日大歯科病院」下車
  （バス約20分）もしくは「日大病院入口」下車（バス約15分，徒歩約5分）
- 北松戸駅（JR常磐線各駅停車）から徒歩約20分

日本大学松戸歯学部
日本大学大学院松戸歯学研究科

日本大学松戸歯学部
https://www.mascat.nihon-u.ac.jp

〒271-8587　千葉県松戸市栄町西2-870-1　TEL 047-368-6111（代表）　FAX 047-364-6295

自主創造
日本大学

NIHON UNIVERSITY School of Dentistry at Matsudo

日本大学松戸歯学部

日本大学大学院松戸歯学研究科

GUIDE BOOK 2024

2024年4月新校舎運用開始（予定）

新たな舞台，新たな学び，新たなスタート。

2021年に創設50周年を迎えた，松戸歯学部。
その記念事業として着工した新校舎の運用を，2024年4月に開始します。
教育・研究・管理の場としての機能を，キャンパス中央に集約。
学修環境のさらなる充実を図り，付属病院との連携面にも配慮しています。
前進する本学部とともに，新たな一歩を踏み出しましょう。

新キャンパス計画に関する情報は
P.20をご覧ください。

NEW SCHOOL BUILDING

人の一生を支える学問

歯の治療だけが，歯科医師の役割ではありません。
口から人の一生を支えること。
これが，わたしたちの志です。

食事をし，言葉をかわし，表情がうまれる。
人と人とが関わり生きていくうえで，
口が担う役割の大きさを常に感じてきました。

「口腔の健康が全身の健康につながる」
この考えは，歯科医学を口腔科学として捉える
開学当初からの先駆的概念でもあります。

ときを重ねても多くの人が笑顔でいられるよう，
知識を深め，技術を磨き，真摯に向き合っていく。
松戸歯学部で見つけてほしいのは，
人の幸せを支える歯科医師の姿勢です。

Oral Science

松戸歯学部の教育ビジョン

歯科医師は虫歯を治療するだけではなく,
口腔の健康を通じて全身の健康を支えるために,ますます重要となってきます。
松戸歯学部は歯科医学を「オーラルサイエンス(口腔科学)」と捉え,
医学の一分科としての教育を行っています。

がん予防

唾液には発がん性を減少させる物質も含まれています。清潔で健やかな口腔環境を保つことは,がんの予防にも大切です。

脳の活性化

噛むことは脳の活動を活発にします。自分の歯で噛めることが認知症の予防にもつながります。

感染予防

口はからだの入口です。口腔の清潔が肺炎などの感染予防にとても役立ちます。

オーラルサイエンス
(口腔科学)

口臭予防

さわやかな息は,やさしいエチケット。歯周病や内臓疾患などでは病的口臭が現れます。

豊かな表情

美しい歯は輝く笑顔の主役です。健康な口は豊かな表情をつくります。

消化促進

よく噛んで食べると,食べ物と唾液がよく混ざり消化吸収を助けます。そして,胃腸の負担も軽くします。

体力向上

しっかりと噛むことは歯やあごの発育だけでなく,丈夫なからだづくりの基本です。

学部長メッセージ

松戸歯学部は自ら進んで行動し結果を出す歯科医師を育成します。

福本(ふくもと)　雅彦(まさひこ)

日本大学松戸歯学部 学部長
日本大学教授(有病者歯科検査医学)

松戸歯学部は2021年に創設50周年を迎え,新たなステージへと歩み始めました。

半世紀もの時の流れは社会を大きく変化させています。50年前は夢物語であった「携帯電話」が,今はさらにスマートフォンへと進化し,自宅の固定電話や公衆電話の存在感は薄れるばかりです。また,レコードで聞いていた「音楽」が,CDからネット配信のサブスクリプション形式となり,「カメラ」はデジカメを経て高画質なカメラ付きスマホへと進化しました。アナログからデジタル化の波は,歯科の世界でも変革をもたらしています。

このような時代の変遷を背景に,社会が求める人材像も変化しました。今思えば,これまでは,指示待ちの受け身の姿勢でも社会から容認される時代だったのかもしれません。しかし,これからの時代は,自ら進んで行動する人材が求められます。つまり日本大学の教育理念である「自主創造」です。このことに鑑み,松戸歯学部は「自ら行動を起こす」「明確な目標設定ができる」「コミュニケーション力が高い」「人の意見を受容できる」「他人と協力し合える」「リーダーシップ力がある」という人材を育成することに注力します。そのためにアクティブラーニングの更なる推進や講義形態の改革などを行うとともに,これらを念頭に令和6年4月から運用開始予定の新校舎では,ラーニング・コモンズエリアの充実やICT環境の整備が図られています。松戸歯学部は日本大学の教育理念「自主創造」を構成する3つの要素「自ら学び」「自ら考え」「自ら道をひらく」能力を身につけた歯科医療人の育成を全教職員が一丸となって推し進めていきます。

沿革

1971	● 日本大学総長 鈴木勝の構想により,日本大学松戸歯科大学開学 ● 初代学長に鈴木勝就任 ● 付属歯科病院開設
1973	● 体育館竣工
1974	● 附属歯科衛生専門学校開校 ● 口腔科学研究所設置
1975	● 学術雑誌「日大口腔科学」創刊
1976	● 日本大学松戸歯学部と改称 ● 動物実験研究センター・アイソトープ研究センター竣工
1977	● 大学院松戸歯学研究科設置
1982	● 組換えDNA実験施設設置(第4共同研究室内)
1989	● 日本大学創立100周年記念 松戸歯学部国際シンポジウム開催
1991	● 創設20周年記念式典・祝賀会
1995	● MASCAT(学内LAN)センター設置
1998	● マルチメディア歯科教育システム導入 ● 松戸歯学部後援会発足
2001	● 創設30周年記念式典・祝賀会
2006	● 新病院棟竣工,日本大学松戸歯学部付属病院と改称
2011	● 創設40周年記念式典・特別講演会
2021	● 創設50周年

日本大学教育憲章

日本大学は，本学の「目的及び使命」を理解し，本学の教育理念である「自主創造」を構成する
「自ら学ぶ」「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ，「日本大学マインド」を有する者を育成する。

日本大学の理念（目的および使命）

日本大学は 日本精神にもとづき
道統をたつとび 憲章にしたがい
自主創造の気風をやしない
文化の進展をはかり
世界の平和と人類の福祉とに
寄与することを目的とする

日本大学は 広く知識を世界にもとめて
深遠な学術を研究し
心身ともに健全な文化人を
育成することを使命とする

日本大学マインド

- **日本の特質を理解し伝える力**
- **多様な価値を受容し，自己の立場・役割を認識する力**
- **社会に貢献する姿勢**

「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

自ら学ぶ	●豊かな知識・教養に基づく高い倫理観 ●世界の現状を理解し，説明する力
自ら考える	●論理的・批判的思考力 ●問題発見・解決力
自ら道をひらく	●挑戦力 ●コミュニケーション力 ●リーダーシップ・協働力 ●省察力

松戸歯学部教育方針

＊詳細はこちらをご参照ください。

教育研究上の目的

理 念	口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし，それを具現化した「オーラルサイエンス（口腔科学）」の学びを礎に，自主創造の能力を養い，豊かな知識と教養に基づく高い倫理観を持ち，論理的かつ批判的思考を用いた問題解決力と省察力を有し，歯科医療と歯科保健を通して生涯にわたり社会に貢献できる人材を育成する。
目 標	口腔と全身の健康維持，増進に寄与するために，社会の多様なニーズに対応できる高い職業倫理を備え，あらゆる職種と協働し，地域医療と地域保健に貢献できる歯科医師を育成する。
研究指導の方針	教員の指導の下に，歯科医学の発展のために積極的に研究活動に参加し，その成果を国内外の学会へ公表することを通じて，研究力を高め，さらに国際人としてのグローバルセンスを養う。

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー （学位授与の方針）	松戸歯学部は，日本大学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」，「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ，松戸歯学部の教育理念に基づいた各分野の授業科目をすべて修得し，8つの能力を修得するために設定された卒業要件を満たした者に学士（歯学）の学位を授与する。
カリキュラム・ポリシー （教育課程編成・実施の方針）	松戸歯学部（学士（歯学））では，日本大学教育憲章（以下，「憲章」という）を基に，学位授与の方針に沿って，教育課程の編成を実施する。 憲章に基づく学位授与の方針における8つの能力（コンピテンシー）を養成するための初年次教育，教養教育，専門教育等について，一般教養，医療行動科学，基礎歯科医学，社会歯科医学，臨床歯科医学，総合医学の各領域で構成される科目を横断的かつ体系的に位置付けて，総合歯科医学領域と臨床実習領域でそれらを統合する教育課程を編成する。また，講義，演習，実験，実習の授業形態を適切に組み合わせた科目を開設し実施する。 学修成果の評価については，各授業科目の専門的な知識・技能及び態度の能力の修得を適切に評価する多元的な評価方法により各授業科目のシラバスに明示される学修到達目標の達成度について判定し，憲章に沿った能力の修得については，卒業の達成を測るための授業科目等により総合的に行う。
アドミッション・ポリシー （入学者受入れの方針）	松戸歯学部の教育理念・目標に合致した人を選抜するために，基礎的学力，論理的思考力やコミュニケーション能力などに関する試験を実施し，医療人としての資質を総合的に評価し，知識・能力・意欲及び態度を有する者を受け入れる。

教　育

3 松戸歯学部 3つの特長

point 1 付属病院と連携した実践的な臨床実習

指導医，患者さん，医療スタッフと関わりながら診療に参加します。付属病院での実習を通じて，知識・技術だけでなく，柔軟なコミュニケーションスキルを身に付けることができます。実習の舞台となる付属病院は，歯科大学付属病院として電子カルテを国内初導入し，様々な最新検査機器を備え，複雑化・多様化する医療ニーズに対応したスキルを身に付け即戦力となる歯科医師を育成します。

全国でも来院患者数トップクラスの付属病院

来院患者数年間22万人以上，1日約780人，年間入院患者数約2,400人と，全国の歯学部付属病院でもトップクラスの来院患者数を有しています。5年次からの臨床実習では，この多くの患者さんのご協力により豊富な臨床経験を積むことができます。歯科医師臨床研修では，歯科医師免許取得後の1年間を大学付属病院などで研修歯科医として過ごしますが，当病院では約70人の歯科医師臨床研修医の受け入れ体制を整えています。

患者さんを中心とした機能的な医療環境

地上4階，地下1階の付属病院棟には，歯科治療用ユニット183台，ベッド数31床を備えています。パティオを中心に22診療科（歯科18科，医科4科）を機能的に配置し，患者さんを中心とした構造になっています。また，最新の歯科用CBCT，MRI，血管造影装置など，あらゆる角度から的確な診断を可能とする設備を有し，歯学部付属病院として国内初の電子カルテシステムを導入するなど充実した医療環境を整えています。

地域歯科医療の中核を担う付属病院

日本大学松戸歯学部付属病院は，臨床実習の場であると同時に地域歯科医療の中核を担い，口腔の健康は全身の健康を支える「オーラルサイエンス（口腔科学）」の理念のもと，新たな歯科医療の分野に挑戦を続けています。そして複雑・多様化する医療ニーズに対応するために，最新の設備で大学付属病院として高度な医療に貢献する一方，地域に根ざした取り組みを積極的に行っています。

付属病院の診療科紹介

■診療部門

【歯科】
放射線科／臨床検査科／病理診断科／総合歯科診療科／歯科疾患管理科／口腔機能維持管理科／健康増進歯科／医療連携科／保存科／補綴科／歯周科／小児歯科／矯正歯科／特殊歯科／口腔外科／麻酔・全身管理科／口腔インプラント科／顎関節・咬合科

【医科】
内科／脳神経外科／頭頸部外科・耳鼻咽喉科／心臓血管外科

＊詳細はこちらをご参照ください。

point 2 「医療行動科学」でプロ意識を修得

カリキュラムポリシーにうたわれている「対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科医師を育成」の観点から，1～4年次にわたり「医療行動科学1～4」を設置しています。患者さんの声に耳を傾け，その思いをくみ取って適切な説明・治療ができるよう，講義や実習を通して患者心理の理解を深め，プロフェッショナリズムを修得します。

point 3 教職員が一丸となったきめ細やかな学修支援

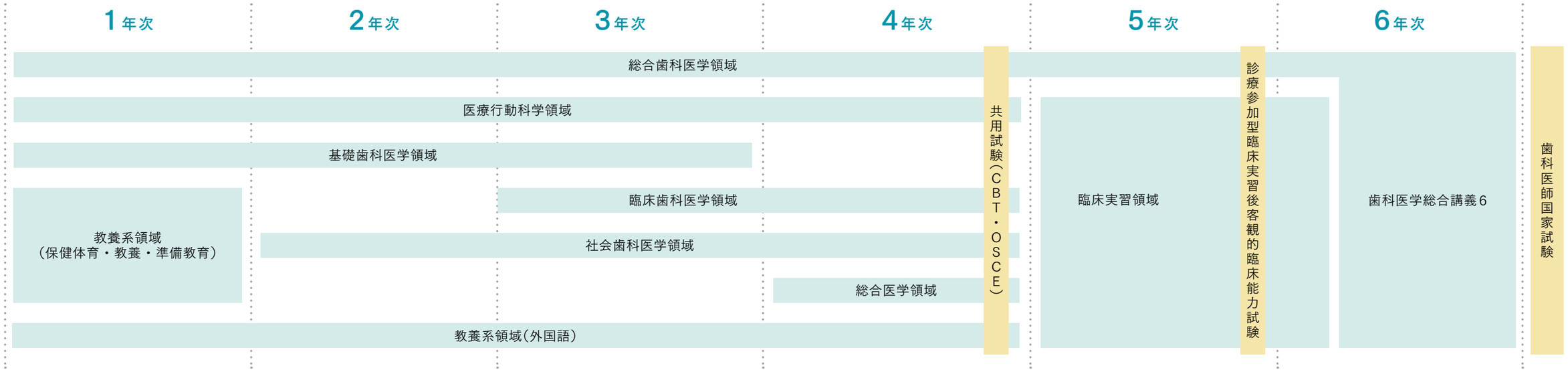
1年次から4年次までに配置された学修サポート委員と学年担任が，学生や保証人との面談を定期的に行い，成績の状況に応じて学修方法や弱点補強のための工夫など適切なアドバイスを学生一人ひとりに行います。また，上級学年になると，5年次では臨床実習への対応，6年次では歯科医師国家試験のために，それぞれ10～12名程度の班に2～3名の教員を配置し，臨床実習へのアドバイスや歯科医師国家試験に向けての知識統合の助言など，きめ細やかな学修支援を行います。

6年間のカリキュラム

全人的な歯科医師を育成する教育システム

基礎歯科医学と基礎医学の「学問体系別講義」と，1つのテーマに様々な専門分野の教員がアプローチする「統合型講義」を連携させた総合的な教育体制を敷いています。また，各学年で段階的に知識や技術を修得できる「歯科医学総合講義」を設置し，一人ひとりの学修到達度を確認しながら効率的に学修を進めることができる独自の「歯科医学教育システム」を確立しています。

＊詳細はこちらをご参照ください。



各領域概要

教養系領域（保健体育・教養・外国語・準備教育）

歯科医師には専門知識・技術だけでなく，幅広い教養も必要という観点から，充実した教養科目群を設けています。日本大学全学共通教育科目「自主創造の基礎」「日本を考える」では，大学での学びやこれからの生き方において必要な日本大学教育憲章に示す基礎的素養を学生個々が身に付けることを主眼としています。また，実社会との関連から教養を学ぶ意義への理解や自身の専門分野を学ぶ意識を高め，以後受講する科目等の成果の充実に寄与するものとなります。準備教育科目の「物理学」「生命科学」「数学」においては，基礎歯科医学との関連性を重視した学修指導を行っています。保健体育科目では，歯科医師として心と身体の健康を管理できる能力を育成し，身体機能の維持・増進に加え，社会性の体得と自律した確かな人間性を高めていきます。

総合歯科医学領域

複数の異なる専門分野の教員が1つのテーマにアプローチする統合型講義を展開し，各学年で修得すべき知識・技術を確認しながら，全人的歯科医師を育成することを目的としています。

基礎歯科医学領域

歯科医師になるためには，人体の構造とその詳細，人体の各部分の機能を十分に理解する必要があります。さらに，病気の原因や治療に用いる薬の作用なども十分に理解しておく必要があります。このような医学にとって基本的な知識は基礎医学とよばれており，専門的には解剖学，組織・発生学，生理学，生化学，薬理学，微生物・免疫学，病理学などの分野に分かれています。そこでこれらの学科目を系統的に学修し，生体の構造や機能について幅広い医学知識や実際の歯科治療の知識・技術修得へ向けての基礎知識を身に付けます。

臨床歯科医学領域・社会歯科医学領域

人体についての医学的知識をもとに，歯科治療はどうあるべきかという理論と具体的な治療法について学びを深めます。歯の硬組織や周辺組織に関する疾患や，その欠損と障害，口腔顎顔面領域の軟組織や硬組織に発生する疾患や障害，発育，成長過程に発生する疾患や障害，また高齢者に特有の疾患や障害とその治療法を学び，多様な歯科医療対応を修得します。また，歯科医療の社会における役割と公衆衛生への関与を学び，科学論文の理解に必要な医療統計学の基礎を学修します。さらに講義と実習を組み合わせることで，臨床実習にあたっての，医学・歯科医学の知識と歯科医療の実践との双方を併せ持つ能力を身に付けます。

医療行動科学領域

歯科医師としてのプロフェッショナリズムを修得するための知識・技能を1年次から4年次まで一貫して学修します。授業は統合型講義で行われ，知識の修得だけではなく，学内外での体験学修を含め，社会から求められる医療人としての資質・人格を段階的に形成していきます。

臨床実習領域

担当医の指導を受けながら，1年間をかけて医療現場の実務を修得します。患者さんと接することで，技術だけにとどまらず，歯科医師としての態度，職業意識を身に付けます。

総合医学領域

臨床実習前に，内科学・外科学などを主体にした医学分野を横断的かつ複合的に学び，「オーラルサイエンス（口腔科学）」を実践するための知識・技術を統合型講義で身に付けます。

「共用試験（CBT・OSCE）」とは

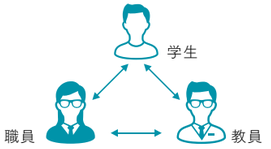
「共用試験」は，実際に患者さんと接する際に必要な知識・態度・技能を身に付けているかを判断する試験で，臨床実習前の学修のまとめとして実施されます。コンピュータを用いて知識・問題解決能力を評価するCBTと，態度・診察技能を評価する客観的臨床能力試験OSCEがあり，この試験に合格すると5年次に進級し，臨床実習に進むことができます。

「診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験」とは

診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（PCC-PX）は，臨床実地試験（CPX）と一斉技能試験（CSX）から成り，臨床実習を通して総合的な臨床能力が身に付いているかを判断する共用試験です。

PICK UP 学生教育の質を高める「教育・学修総合センター」

松戸歯学部では「教育・学修総合センター」を設置し，学生・教員・職員が三位一体となり，学修を支援する教育システムを構築しています。収集した成績等のデータに基づいて作成した教材を学生に提供し，苦手分野の克服を目指しています。また，全ての試験成績に基づいて分析したデータを学生にフィードバックすることで，学びを確実に進められるきめ細やかなサポートを行っています。



幅広い教養の知識と
基礎的な歯科医学を総合的・複合的に学ぶ

MESSAGE　山本（やまもと）　大夏（たいが）さん

■松戸歯学部の学びについて

1・2年次では一般教養科目や基礎的な医学的知識を中心に学修し，3年次からは実習が増え，歯科治療の理論や実際の治療方法など専門的な学びが始まります。中でも1つにまとまった働きをする気管系の概念を理解し，構造と機能を学ぶ「生理学」に興味を持っています。歯科医師として対応すべき疾患の原因を考え，追求するための基礎的な力を修得することが目的で，学ぶべきことが多く大変ですが，やりがいを持って勉強に取り組んでいます。松戸歯学部の魅力はキャンパスがとても広く，のびのびと学生生活を送れる点です。先生方との距離感も近く，困ったことがあると親身になって対応してくださるので，安心して学生生活を送ることができます。将来は患者さん一人ひとりに親身になって対応でき，信頼していただける歯科医師になることを目指しています。

■2年次後学期の時間割

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	歯科医学総合講義2	薬理学1	歯科医学総合講義2	生理学	衛生・公衆衛生学
2	医療行動科学2	歯科材料学1	英語2	生理学	微生物・免疫学
3	解剖学	解剖学	組織・発生学	歯科材料学1	微生物・免疫学
4	解剖学	解剖学	組織・発生学	歯科材料学1	オフィスアワー

（令和5年度 参考）

学 び の 特 色

自主創造の基礎

日本大学では，学生一人ひとりが「自主性」と「創造性」に根ざした「将来目標を設定する意識付け」「学ぶ目的の意識付け」ができるような「自主創造型パーソン」の育成を目指し，全学共通初年次教育科目が設置されています。1年次では「自主性」を涵養し，「創造性」への導入を目指した「自主創造の基礎（初年次教育科目）」を展開しています。松戸歯学部で求められる学修技法や将来の良き社会人に繋がる学修のあり方について学びます。

栄養学

健康と栄養の密接な関係について，歯科領域から，食育（様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を修得し，健全な食生活を実践することができる人間を育てること）に対するアプローチを探索し，学びを深めます。

医療行動科学

［1・2年次］
授業は統合型講義で行われ，知識の修得だけではなく，学内外での体験学修を含め，社会から求められる医療人としての資質・人格を段階的に形成していきます。

［3年次：患者ー医療関係学／医療人間学］
患者さんと医療者のあるべき関係について深く考え，付属病院における「患者付添実習」を通して自らが取るべき行動指針について学修します。

［4年次：医療面接・歯科臨床診断学／医療コミュニケーション学］
医療面接を通して，医療情報を収集し，最適な医療を行うために必要な診断までのプロセスや患者さんと良好な信頼関係を築くための医療コミュニケーションについて学修します。

障害者歯科学

「障害者歯科学」の専門講座を開設している本学部では，障がいのある患者さんの歯科医療にも力を入れています。摂食嚥下（せっしょくえんげ）機能障害を有する患者さんの全身疾患への理解を深めるとともに，社会歯科学的背景を理解し課題解決のための知識・技術を修得します。

MESSAGE　専任講師　齋藤（さいとう）　真規（まさのり）　［感染免疫学］

学修を通して問題解決力を身につけた歯科医師を育てる。

5年次の病院内での診療参加型臨床実習を行うためには，4年次までの学修で歯科医療を提供するための幅広い知識を修得することが必要です。2年次で行われる「微生物・免疫学」では，感染症の原因となる病原体やその病原体に打ち勝つための免疫力について学びます。皆さんもご存じの通り，口腔内には多数の細菌が生息しています。口腔ケアがしっかりできていないと虫歯や歯周病の原因となりますので，歯を磨くことはそれらの予防にとても重要です。しかし，なぜ口腔内に細菌が生息しているのか，口腔細菌はどんなことをしているのか，どうして毎日歯を磨かなくてはならないのかといった疑問を抱くことはないでしょうか。その答えは6年間の学修を通してきっと見つかります。松戸歯学部の学修では，知識を得ることはもちろんのこと，当たり前の事柄に疑問をもち，自らその疑問を解決する能力を身につけた歯科医師の育成を目指しています。

全国トップクラスの来院患者数を誇る
付属病院での臨床実習

MESSAGE　松井（まつい）　瑞季（みずき）さん

■松戸歯学部の学びについて

5年次になると，本格的に対患者さんの臨床実習が始まります。座学では養えないコミュニケーション能力や診断のための情報収集，検査法など，自ら考え実践する力が求められます。中でも学生一人ひとりが患者を担当するSD診療では，自ら治療計画を立案し実際に治療を行うのでとても大変ですが，治療技術のみならず歯科医師になるという自覚を育むことができました。

松戸歯学部の魅力は先生方との距離が近く，疑問に思ったらすぐに質問できる環境です。図書館には勉強スペースがあり，机には仕切りもあるのでとても集中できます。資料も多くあるので試験前やレポートを書く時によく利用しています。松戸歯学部で学修したことをしっかり身につけ，将来は技術力のみならず，患者さんに寄り添い信頼関係を築くことのできる歯科医師を目指します。

■5年次前学期の時間割

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
8:40~9:40	歯科医学総合講義5					
10:00~12:00	臨床実習					
13:00~16:00	臨床実習					病院内清掃 —
17:00~	病院内清掃					—

（令和5年度 参考）

学びの特色

診療参加型臨床実習（SD診療）

付属病院を受診する患者さんの治療に参加し，歯科医療の実践力を培います。指導医のもとで，患者さんの初診時医療面接と応急処置に始まり，診査・検査・情報収集と分析，総合的治療計画の立案，患者さんへの説明まで学生が行います。さらに，指導医の指示を仰ぎながら実際に患者さんの治療を担当し，実体験を通して患者さんとの良好な関係構築のためのコミュニケーション能力と診察技能を高めます。

歯科医学総合講義6

診断・治療・予防までの一貫した診療を実践できる歯科医師を目指して講義を行い，歯科医師国家試験の合格に向けて6年次までに履修した知識・技術を集約します。

課題別臨床実習

6年次に実施され，各診療科で参加型臨床実習を行いながら，新5年次生に基本的臨床能力を指導することで自身の知識・技能・態度を見直し，より専門的な知識・技能・態度を統合的に修得します。

PICK UP　学修スペースについて

松戸歯学部では学修支援の一環として学修スペースの充実を図っています。図書館の他に，学生セミナー室も完備。さらに，学生同士が知識を深めながらグループ学修ができるよう学生食堂も学修スペースとして開放しています。学内では多くの学生がこれらの学修スペースを利用し，毎日の講義・実習の復習や試験に向けて勉学に励んでいます。

MESSAGE　専任講師　山本（やまもと）　泰（ひろし）　［口腔外科学］

全身を診て，口腔を一臓器として捉えて診療する歯科医師を育てる。

口腔外科は，口腔顎顔面領域に発生する腫瘍，顎の変形や骨折などの外科的治療のみならず，口腔粘膜疾患や神経性疾患などに対する内科的治療，細菌やウイルス感染による炎症性疾患の治療など幅広い疾患を扱う診療科です。口腔内のみならず，患者さんの全身を診察して治療法を検討し，対応できる能力が必要となります。松戸歯学部では４年次で口腔顎顔面外科学として講義と実習を行います。実習では診療の基本である手洗いや模型を用いて局所麻酔，抜歯，縫合などの手技を学修します。

5年次の臨床実習では学生同士で局所麻酔の相互実習を経て，実際の診療の中で患者さんに局所麻酔や抜歯，縫合処置などを行い実践的に学びます。また，一般の歯科医院では行っていない全身麻酔による口腔がんの切除や顎骨腫瘍の摘出などを手術室で体験，学修します。
松戸歯学部の学修を通じて患者さんの全身状態を把握し，歯や歯茎だけでなく，口腔顎顔面の状態や機能を考慮して診療する歯科医師を目指していただきたいです。

診療参加型臨床実習を実践する SD(Student Dentist)診療室

松戸歯学部では，5年次の臨床実習においてSD診療室を開設しています。付属病院で実践的に診療マネジメントを行い，SDとしての自覚を持って，治療技術やコミュニケーション能力と知識の向上を図っています。

SD診療とは？

学生が，指導医とともに患者さんのマネジメントを行う“診療参加型”の臨床実習です。

地域歯科医療の中核を担う付属病院で優れた臨床能力と人格を身に付ける

松戸歯学部の学生が臨床実習を行う場は，最新の歯科用CBCT，MRI，血管造影装置など診療機器や国内初の電子カルテを導入した日本大学松戸歯学部付属病院です。同病院は地域における歯科医療の中核的な役割を担っている上，厚生労働省から歯周病関連の高度先進医療機関として認定を受けています。全国歯学部付属病院の中でもトップクラスの来院者数の付属病院での実習を通して専門知識や技術のみならず，患者さんに対する思いやりや奉仕的精神をしっかりと身に付け，即戦力となる優れた臨床能力と人格を備えた歯科医師の育成を目指します。

脳と口腔の機能に着目した医療の実践

脳神経外科など医師が在籍していることにより，脳血管疾患などによる要介護状態の患者さんなどに対して，口腔と脳の2つの領域からアプローチすることが可能です。ことに，「口・顔・頭の痛み外来」は首から上の全ての痛みに対応しており，同一の施設内で医師と歯科医師による協働した診療を可能としています。5年次からは医師や歯科医師，患者さんから数多くのことを学ぶとともに，常に新しい医療技術を学ぶ貴重な環境を整備しています。

一口腔単位の診療マネジメントの実践

SD診療では，学生が患者さんのチーム医療の一員となり，診療の開始から終了までの中心的な役割を果たします。指導医の下，初診の患者さんの医療面接の実施，口腔機能の回復をトータルで考える一口腔単位の治療計画立案，必要な検査の実施，治療の実施と介助，予約マネジメント，症例報告を行います。患者さんと信頼関係を築きながら，総合的な歯科臨床能力を身に付けます。

海外留学から国家試験合格まで万全のサポート体制

海外留学制度

ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ(サマースクール)

日本大学はケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジでこれまで長期にわたりサマースクールを実施しています。日本大学と共同出資で建設した学寮があり，研修期間中は，寮に滞在しながら，カレッジ生活を体験します。夏季休業期間を利用した3週間(1日約5時間の授業)の集中プログラムです。また，ケンブリッジ大学の学生が専属プログラムアシスタントとしてサポートします。

エリザベスタウン・カレッジ

英語運用能力のレベルアップを目指す授業が展開され，期間中はエリザベスタウン・カレッジ内の寮に滞在します。米国の生活・文化を体験するため，ニューヨーク，ワシントンD.C.といった大都市へのフィールドトリップも企画される予定です。

日本大学大学院海外派遣奨学生

大学院学生を海外に派遣することにより，研究者の育成及び国際交流の進展を図り，本学の発展に資することを目的としています。

歯科医師国家試験サポート

歯科医学総合講義5

5年次に行われる「歯科医学総合講義5」は，臨床実習の前に毎朝行われる講義です。臨床実習で遭遇する症例の問題解決力を養い，国家試験に対応できる知識を修得します。

歯科医学総合講義6

6年次に行われる「歯科医学総合講義6」は，6年間の歯学部教育を総括するまとめ講義です。総合試験は歯科医師国家試験を徹底的に分析し，問題数や合格基準を国家試験水準としています。

国家試験対策委員会・学修サポート委員会

各講座に1人以上の国家試験対策委員会・学修サポート委員会の教員がおり，適切な勉強方法の相談など，いつでも質問ができる体制を整えています。1～6年次クラス担任・国家試験対策委員・学修サポート委員を中心に，面談方針を定め2者面談・3者面談を実施し学修支援を行っています。

歯科医師国家試験合格率(新卒者)

第112回 (2018年度)	第113回 (2019年度)	第114回 (2020年度)	第115回 (2021年度)	第116回 (2022年度)
77.5％	80.5％	81.8％	55.6％	74.2％

CAMPUS MAP

キャンパスマップ

都心近郊ながらも，開放感のある広大な敷地。
ゆとりある学びを実現するキャンパス。

松戸歯学部は，都心からほど近い松戸市西部に位置しています。
広々としたキャンパス内にはグラウンドや体育館はもちろん，2024年４月には新校舎の運用を開始する予定です。
都心近郊ならではの，のびのびと安心して過ごせるキャンパスライフを実現します。

1 グラウンド

26,000㎡の広さを持ち，夜間照明を完備しています。クラブ活動及び体育実技など幅広く利用され，また，松戸市の避難場所兼収容避難場所として指定されています。

2 付属病院棟

歯科以外にも内科・耳鼻咽喉科などの医科の診療科があります。５年次からの臨床実習は，この病院において実施します。

3 学生食堂

学生や教職員，研修医など学内関係者が自由に利用でき，クラブのミーティングや学修する場としても利用されています。

4 体育館

バスケットボールコート2面を確保でき，冷暖房設備があります。その他に各種道場，トレーニングルーム及びシャワー室を備えています。

新キャンパス計画について

松戸歯学部は創設50周年記念事業として，老朽化した教育実習棟・管理研究棟および校舎棟に代わる新校舎を新築するなど，新キャンパス計画に着手しました。2022（令和４）年に建設工事に着手し，2024（令和６）年４月から新校舎の運用開始を予定しています。その後，解体工事，外構整備を行い2025（令和７）年３月頃工事完了予定です。新校舎は，キャンパス中央に配置し，教育・研究・管理の場として松戸歯学部の中核を担う機能を集約します。特にラーニング・コモンズは図書館機能を含む学修環境の中心として利用し，記念講堂は，式典や学会などに幅広く利用することを予定しています。付属病院などの既存施設との繋がりにも配慮した新校舎となります。
教育実習棟・管理研究棟跡地には本学部の特長である“豊かな緑”を活かす庭園やキャンパスの顔を兼ねた守衛所を設置します。
なお，本計画のコンセプトテーマは次の通りです。

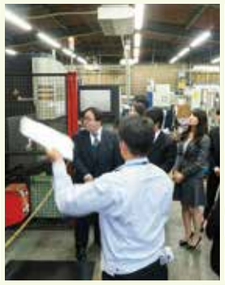
Concepts

1 松戸歯学部らしさを継承し育むキャンパス
①充実した学修環境（ラーニングコモンズ）
②使いやすさに配慮した配置・動線計画
③既存の建物と調和する外観デザイン

2 コミュニケーション＆プロフェッショナル
①活力あるコミュニケーションスペース
②プロフェッショナルを育てる教育・研究スペース
③スペースをシェアする効率的な平面・断面計画

3 エコ（エコロジー＆エコノミー）キャンパス
①“豊かな緑”を活かしたエコロジーキャンパス
②シンプル＆コンパクトなエコノミーキャンパス
③ニーズの変化に対応できるフレキシブルデザイン

EVENT SCHEDULE 年間スケジュール



4
- 日本大学入学式／学部開講式
- 登院式・戴衣式(5年次)
- ガイダンス
- 新入生オリエンテーション
- 大学院開講式
- 実験動物慰霊祭
- 学外研修(5年次)

8
- 全日本歯科学生総合体育大会（歯学体：夏期部門）
- 夏季休業
- オープンキャンパス

12
- 全日本歯科学生総合体育大会（歯学体：冬期部門）
- 冬季休業

5
- 定期健康診断
- 後援会総会
- 松戸歯学部創設記念日(5/20)
- 消防・防災訓練

9
- 口腔科学会学術大会・総会
- 後学期授業開始

1

6
- リーダースキャンプ
- オープンキャンパス
- レクリエーション大会

10
- 日本大学創立記念日(10/4)
- 学部祭(松戸祭)
- 市民大学講座
- オープンキャンパス
- 解剖体追悼法要

2
- 歯科医師国家試験
- 共用試験CBT，OSCE(4年次)
- 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(5年次)

7
- 特待生・各種奨学生証書等授与式
- オープンキャンパス
- 夏季休業

11
- 消防・防災訓練

3
- 日本大学卒業式／学位記伝達式
- 歯科医師国家試験合格発表

※各種行事は，変更・中止となる場合があります。

CLUB ACTIVITY クラブ活動

本学部のモットーは文武両道。国家試験合格を目指すかたわら，多くの学生が同じ趣味や目的を持つ仲間と，クラブ活動にも精力的に汗を流しています。本学部には夜間照明付きグラウンド，体育館，テニスコート等が完備されており，サポート体制は万全です。このクラブ活動で得た学年を超えた「仲間」との絆は，在学中はもちろんのこと，卒業してからも生涯の友として貴重な財産となります。

体育クラブ

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式野球部
- 硬式庭球部
- ゴルフ部
- サーフィン部
- サッカー部
- 山岳部
- 少林寺拳法部
- 準硬式野球部
- 柔道部
- スキー部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 日本拳法部
- バドミントン部
- バレーボール部
- バスケットボール部
- フットサル部
- ボクシング部
- 洋弓部
- ヨット部
- ラグビーフットボール部
- 陸上競技部

文化クラブ

- 国際保健部
- 軽音楽部
- 写真部
- ユースホステルクラブ
- アナログレコード研究部
- ダンス部
- モーターサイクル部
- 天文部

全日本歯科学生総合体育大会 総合優勝実績

1992	第24回総合優勝
1993	第25回総合優勝
2003	第35回総合優勝
2004	第36回総合優勝
2015	第47回総合優勝

同好会

- MDEC同好会
- 社会交流同好会
- 釣り同好会
- 戦史研究会
- e-Sports同好会
- 映像制作同好会

＊詳細はこちらをご参照ください。

一般選抜 N全学統一方式・A個別方式

	N全学統一方式【第1期】（日本大学が実施する入試）	N全学統一方式【第2期】（日本大学が実施する入試）	A個別方式【第1期】（松戸歯学部が実施する入試）	A個別方式【第2期】（松戸歯学部が実施する入試）
募集人員	8名	2名	45名	10名
出願期間	令和6年1月5日(金)～ 1月19日(金) インターネット出願，郵送	令和6年1月5日(金)～ 2月23日(金) インターネット出願，郵送	令和6年1月5日(金)～ 1月22日(月) インターネット出願，郵送	令和6年1月5日(金)～ 2月14日(水) インターネット出願，郵送
選考日	令和6年2月1日(木)	令和6年3月4日(月)	令和6年2月4日(日)	令和6年2月25日(日)
合格発表＊1	令和6年2月14日(水)	令和6年3月13日(水)	令和6年2月14日(水)	令和6年3月4日(月)
入学手続締切日	令和6年2月21日(水)	令和6年3月18日(月)	令和6年2月21日(水)	令和6年3月18日(月)
二段階最終入学手続日	令和6年3月11日(月)	—	令和6年3月11日(月)	—
出願資格・出願書類	「一般選抜募集要項」に記載のとおり。			
入学検定料				
選考方法	**①学力検査** 【外国語】「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」(60分／100点満点) 【数学・理科】「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」,「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」のうちから1科目選択。上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は，高得点の科目を合否判定に使用する。ただし医学部を併願していて，「理科」を合否判定に使用する場合は，第1解答科目のみを合否判定に使用する。(60分／100点満点) **②書類審査** (出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」,「出席状況」) 上記の結果を基に，総合的に選考する。 ※学力検査の成績の評価点が同点の場合，書類審査の評価点が高い者を優先とする。	**①学力検査** 【外国語】「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ」(60分／100点満点) 【数学・理科】「数学Ⅰ・数学Ⅱ」,「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」のうちから1科目選択。(60分／100点満点) **②書類審査** (出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」,「出席状況」) **③小論文**［500字～ 600字］(60分／50点満点) **④面接**(50点満点) 上記の結果を基に，総合的に選考する。ただし，③・④には，各々最低基準を設け，基準に達しない場合は，総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合，学力検査の評価点の高い者を優先とし，更に同点であった場合は面接の評価点，また，更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。 ※学力検査の解答方式は記述式。		

＊1. 午後1時にインターネットによる合否案内。

一般選抜 C共通テスト利用方式(大学入学共通テストを利用した試験)　※個別学力検査等は実施しません。

	【第1期】	【第2期】
募集人員	3名	2名
出願期間	令和6年1月5日(金)～1月19日(金) インターネット出願，郵送	令和6年1月5日(金)～2月16日(金) インターネット出願，郵送
選考日	大学入学共通テスト 令和6年1月13日(土)・14日(日)	
合格発表＊1	令和6年2月14日(水)	令和6年3月4日(月)
入学手続締切日	令和6年2月21日(水)	令和6年3月18日(月)
二段階最終入学手続日	令和6年3月11日(月)	—
出願資格・出願書類	「一般選抜募集要項」に記載のとおり。	
入学検定料		
試験科目	【国語】「国語(近代以降の文章)」(100点満点) 【理科】「物理」,「化学」,「生物」のうちから1科目選択。(100点満点) 【外国語】「英語」(100点満点) 【書類審査】(出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」,「出席状況」) ※上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は，高得点科目を合否判定に使用。 ※【外国語】「英語」においては，リスニングの成績は利用しない。 ※【国語】においては，近代以降の文章のみ利用。 ※大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し，合否判定する。 ※大学入学共通テストの成績の評価点が同点の場合，書類審査の評価点が高い者を優先とする。	【数学】「数学Ⅰ」,「数学Ⅰ・数学A」のうちから1科目選択。「数学Ⅱ」,「数学Ⅱ・数学B」のうちから1科目選択。(各50点，100点満点) 【理科】「物理」,「化学」,「生物」のうちから1科目選択。(100点満点) 【外国語】「英語」(100点満点) 【書類審査】(出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」,「出席状況」) ※上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は，高得点科目を合否判定に使用。 ※【外国語】「英語」においては，リスニングの成績は利用しない。 ※大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し，合否判定する。 ※大学入学共通テストの成績の評価点が同点の場合，書類審査の評価点が高い者を優先とする。

＊1. 午後1時にインターネットによる合否案内。

総合型選抜

	【第1期】	【第2期】	【第3期】※新設
募集人員	12名	3名	2名
エントリー期間	令和5年9月1日(金)～9月15日(金)　郵送・窓口＊1	令和5年11月1日(水)～12月6日(水)　郵送・窓口＊1	令和6年2月19日(月)～3月4日(月)　郵送・窓口＊1
エントリー書類	エントリーシート		
出願期間	令和5年9月16日(土)　～9月30日(土) インターネット出願＊2	令和5年12月7日(木)～12月21日(木) インターネット出願＊2	令和6年2月26日(月)　～3月4日(月) インターネット出願＊2
選考日	令和5年10月21日(土)	令和6年1月20日(土)	令和6年3月9日(土)
合格発表＊3	令和5年11月1日(水)	令和6年1月26日(金)	令和6年3月15日(金)
入学手続締切日	令和5年11月8日(水)	令和6年2月2日(金)	令和6年3月22日(金)
出願書類	①出願確認票 ②出願資格を証明する書類(高等学校，中等教育学校の卒業(見込)者，高等専門学校第3年次，在外教育施設の当該課程の修了(見込)者は出身学校の調査書)		
入学検定料＊4	「募集要項」に記載のとおり。		
出願資格	次のいずれかに該当する者。 ● 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者。 ● 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和6年3月修了見込みの者。 ● 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者。		
出願要件	次の要件を全て満たす者。 ① 本学部を第一志望とし，合格した場合には必ず入学することを確約できる者。 ② エントリー出願後に，アドミッション・ポリシー及び教育内容等を理解した上で，出願ができる者。		
選考方法	**①基礎学力検査**(60分／100点満点) ※英語，数学，国語(古文，漢文を除く)※高校を卒業するにあたっての基本的な知識レベル **②小論文**［500字～ 600字］(60分／50点満点) **③面接**(50点満点) 上記の結果を基に，総合的に選考する。ただし，②及び③には各々最低基準を設け，基準に達しない場合は，総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合，基礎学力検査の評価点の高い者を優先とし，更に同点であった場合は面接の評価点が高い者を優先とする。		

＊1. 休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。＊2. ただし，出願書類を「松戸歯学部教務課」宛 郵送又は直接持参にて提出すること。※休日は郵送のみ。
＊3. 午後1時にインターネットによる合否案内。＊4. エントリー出願時には入学検定料は不要。

校友子女選抜

	【第1期】	【第2期】
募集人員	8名	3名
出願期間	令和5年9月16日(土)～9月30日(土)　インターネット出願＊1	令和5年12月7日(木)～12月21日(木)　インターネット出願＊1
選考日	令和5年10月21日(土)	令和6年1月20日(土)
合格発表＊2	令和5年11月1日(水)	令和6年1月26日(金)
入学手続締切日	令和5年11月8日(水)	令和6年2月2日(金)
出願書類	①出願確認票 ②日本大学校友会発行の「校友子女確認書」 ③校友子女入学者選抜 出願理由書・経歴書(本学部所定用紙) ④出身学校の調査書等	
入学検定料	「募集要項」に記載のとおり。	
出願資格	日本大学校友会が発行した「校友子女確認書」を有し，次のいずれかに該当し，合格した場合，本学部に入学することを確約できる者。 ● 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者。 ● 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者。 ● 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者。	
選考方法	**①書類審査**(出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」,「出席状況」) **②学力検査**(60分／100点満点) ※英語，数学，国語(古文，漢文を除く) ※高校を卒業するにあたっての基本的な知識レベル **③小論文**［500字～ 600字］(60分／50点満点) **④面接**(50点満点) 上記の結果を基に，総合的に選考する。ただし，③・④には，各々最低基準を設け，基準に達しない場合は，総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合，学力検査の評価点の高い者を優先とし，更に同点であった場合は面接の評価点，また，更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。	

＊1. ただし，出願書類を「松戸歯学部教務課」宛 郵送又は直接持参にて提出すること。※休日は郵送のみ。＊2. 午後1時にインターネットによる合否案内。

■ 学校推薦型選抜

	指定校制	公募制
募集人員	7名	3名
出願期間	令和5年11月1日(水)～11月10日(金)　インターネット出願，郵送・窓口＊1	
選考日	令和5年11月18日(土)	
合格発表＊2	令和5年12月1日(金)	
入学手続締切日	令和5年12月8日(金)	
出願書類	①出願確認票　②出身学校の調査書　③出身学校長の推薦書	
入学検定料	「募集要項」に記載のとおり。	
推薦基準及び出願資格	次の要件を全て満たす者で，学校長が責任をもって推薦する者。 ● 本学部指定の高等学校又は中等教育学校を令和6年3月卒業見込みの者。 ● 本学部で歯学の専攻を強く希望し，合格した場合，本学部に入学することを確約できる者。 ● 調査書の「全体の学習成績の状況」が指定校別に定めた値以上の者。	次の要件を全て満たす者で，学校長が責任をもって推薦する者。 ● 全日制高等学校又は中等教育学校(共に普通科・理数科，又は本学部がこれに準ずると認めた学科)を令和6年3月卒業見込みの者。 ● 本学部で歯学の専攻を強く希望し，合格した場合，本学部に入学することを確約できる者。 ● 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.3以上の者。
選考方法	**①書類審査**（出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」，「出席状況」）　**②小論文**［500字～ 600字］(60分／50点満点)　**③面接**(50点満点) 上記の結果を基に，総合的に選考する。ただし，②・③には，各々最低基準を設け，基準に達しない場合は，総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合，面接の評価点の高い者を優先とし，更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。	

＊1.休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。＊2.学校長へ発送。午後1時にインターネットによる合否案内。

■ 学校推薦型選抜(付属高等学校等)

	基礎学力選抜	付属特別選抜	追加募集 ※新設
募集人員	18名	2名	募集人員は，基礎学力選抜の選考の結果，募集人員を充足しなかった部分の人数を上限とする。
出願方法	在籍する高等学校等の指示に従うこと。		
出願受付日	令和5年11月1日(水)［高校→本部］		令和5年11月1日(水)～12月8日(金)
選考日	令和5年11月18日(土)		令和5年12月16日(土)
合格発表＊1	令和5年12月1日(金)		令和5年12月22日(金)
入学手続締切日	令和5年12月8日(金)		令和6年1月12日(金)
出願書類(本部より)	①出願確認票 ②出身学校の調査書	①出願確認票　②出身学校の調査書 ③出身学校長の推薦書　④志望理由書	①出願確認票 ②出身学校の調査書
入学検定料	「募集要項」に記載のとおり。		
推薦基準及び出願資格	● 日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト(理系)の標準化点の順位が上位8割以上である者。 ● 日本大学付属高等学校等を令和6年3月卒業見込みの者。	次の要件を全て満たす者で，学校長が責任をもって推薦する者。 ● 日本大学付属高等学校等(文系・理系)を令和6年3月卒業見込みの者。 ● 本学部で歯学の専攻を強く希望し，合格した場合，本学部に入学することを確約できる者。	次の要件を全て満たす者で，学校長が責任をもって推薦する者。 ● 日本大学付属高等学校等(文系・理系)を令和6年3月卒業見込みの者。 ● 本学部で歯学の専攻を強く希望し，合格した場合，本学部に入学することを確約できる者。
選考方法	● **面接**(50点満点) 面接の結果には，最低基準を設け，基準に達しない場合は，不合格とする。	**①書類審査**（出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」，「出席状況」）　**②学力検査**(60分／100点満点)※英語，数学，国語(古文，漢文を除く)　※高校を卒業するにあたっての基本的な知識レベル **③小論文**［500字～ 600字］(60分／50点満点)　**④面接**(50点満点) 上記の結果を基に，総合的に選考する。ただし，③・④には，各々最低基準を設け，基準に達しない場合は，総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合，学力検査の評価点の高い者を優先とし，更に同点であった場合は面接の評価点，また，更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。	● **面接**(50点満点) 面接の結果には，最低基準を設け，基準に達しない場合は，不合格とする。

＊1.学校長へ発送。午後1時にインターネットによる合否案内。

■ 編入学試験(募集年次 2年次)

	【第1期】	【第2期】※新設
募集人員	若干名	若干名
出願期間	令和5年11月1日(水)～11月10日(金)　郵送・窓口＊1	令和6年2月26日(月)～3月4日(月)　郵送・窓口＊1
選考日	令和5年11月18日(土)	令和6年3月9日(土)
合格発表＊2	令和5年12月1日(金)＊2	令和6年3月15日(金)＊2
入学手続締切日	令和5年12月8日(金)	令和6年3月22日(金)
入学検定料	「募集要項」に記載のとおり。	
出願書類	①入学志願票　②編入学試験出願理由書・経歴書(本学部所定用紙)　③大学の成績証明書　④大学の在学期間を証明する書類(在学証明書・卒業証明書・退学証明書 等)	
出願資格	次のいずれかの要件を満たす者。 ● 大学に1年以上在学し，35単位以上を修得した者。ただし，単位修得見込みの者を除く。 ● 大学を平成31年3月から令和5年3月までに卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者。	
選考方法	**①学力検査**(60分／100点満点)※英語，数学，国語(古文，漢文を除く)　※高校を卒業するにあたっての基本的な知識レベル **②小論文**［500字～ 600字］(60分／50点満点)　**③面接**(50点満点) 上記の結果を基に，総合的に選考する。ただし，②・③には，各々最低基準を設け，基準に達しない場合は，総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合，学力検査の評価点の高い者を優先とし，更に同点であった場合は面接の評価点が高い者を優先とする。	

＊1.休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。＊2.本人へ発送。

学費

■ 学費(令和5年度参考)　※諸会費除く

	【1年次】		【2年次】		【3～6年次】	
	前学期(入学手続時納入金)	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
入学金	600,000円	—	—	—	—	—
授業料	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円
施設設備資金	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
教育充実料	1,000,000円	1,000,000円	500,000円	500,000円	—	—
小計	3,750,000円	3,150,000円	2,650,000円	2,650,000円	2,150,000円	2,150,000円
学年合計	6,900,000円		5,300,000円		4,300,000円	
6年間合計	29,400,000円					

一般選抜時の成績優秀者は教育充実料200万円(初年度)を減免します。

各種奨学金制度の紹介

■ 学内の奨学金制度

本学部には充実した奨学金制度があります。学業成績・人物が優秀な学生や，経済的理由により修学が困難な学生に対し，様々な奨学金を給付・貸与しています。

奨学金名	対象	条件	金額	募集時期＊1	種別
日本大学特待生	学部2年次生以上	学業成績・人物共に優秀な者(公募ではありません)。	甲種：授業料1年分相当額の半額及び図書費 乙種：授業料1年分相当額の半額	—	給付
松戸歯学部鈴木奨学金(第1種)	学部2～6年次生・大学院生	学業成績・人物ともに優れている者。	年額10万円	4～5月	
松戸歯学部鈴木奨学金(第2種)	学部・大学院生	経済的理由により学費の支弁が困難である学業成績・人物共に優秀な者。	年額24万円	5月	
松戸歯学部大竹奨学金	学部2～6年次生・大学院生	学業・人物ともに優れた者，もしくは，課外活動において顕著な成果を収め学部等の発展に貢献したと認められる者。	年額10万円		
日本大学古田奨学金 日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金	大学院生	学業成績・人物共に優秀な者。	年額20万円		
日本大学創立130周年記念奨学金(第2種)	学部生	経済的支援を必要とし，修学意志が堅固で学業成績及び人物が優良な者(外国人留学生を除く)。	年額30万円	6月	

■ 学外の奨学金制度

奨学金名	対象	条件	金額	募集時期＊1	種別
日本学生支援機構奨学金(第一種)＊2［無利子］	学部・大学院生	特に優れた学生で，経済的理由により著しく修学困難な者。	学部生：2・3・4・5万4千円の中から選択(自宅通学)。2・3・4・5・6万4千円の中から選択(自宅外通学)。 大学院生：8万円もしくは12万2千円。	4月	貸与
日本学生支援機構奨学金(第二種)＊2［有利子］		第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者。	学部生：2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・16万円から選択。/大学院生：5・8・10・13・15万円から選択。		
日本学生支援機構奨学金(給付型)＊2	学部生	収入が一定額以下であること(学業成績・学修意欲等に関する要件も満たす必要がある)。 ※給付型奨学金の対象となれば授業料・入学金も免除又は減額。	世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決定。		給付
民間企業提携教育ローン	学部・大学院生	詳細は学生課までお問い合わせください。		随時	
地方公共団体・各奨学財団奨学金		募集期間や内容は様々ですので，詳細は学生課掲示板にて随時お知らせします。			給付・貸与

＊1.募集時期は目安です。正式な期限等については，学生課掲示板にてお知らせいたします。＊2.独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)のホームページを御参照ください。　https://www.jasso.go.jp

よくある質問

Q 入学者選抜の選択科目によって有利不利はありますか？

A 問題作成の際に難易度などを調整し，不公平にならないよう配慮していますので，選択科目による有利不利はありません。自分の得意な科目でチャレンジすることが，より良い結果につながるでしょう。

入試情報について p.23 ～ 25

Q 試験会場の下見はできますか？

A 試験場へは入れませんが，事前に駅からの道順，所要時間をチェックし下見をしておくことをお勧めします。なおオープンキャンパス，キャンパスツアーに参加していただければ，施設見学として校舎内をご覧いただけます。

オープンキャンパス，キャンパスツアーについて ガイドブック裏面

Q 合格後の入学手続きについて教えてください。

A 合格後，入学手続期間中に所定の納入金を納め，必要書類を提出いただくと入学が許可されます。なお，日本大学他学部または他大学を併願している場合は，一部の一般選抜（正規合格者）は入学手続の延期が可能です。延期を希望する場合は，入学手続期間中に入学申込金を納入し，所定の手続きを行うことで，大学指定の期日まで延期することが可能です。この入学申込金は，本学部へ入学される際に入学金として充当いたします。

入学手続きについて p.23 ～ 26

Q 卒業後の進路は？

A 松戸歯学部の卒業生は6,200人。日本だけでなく，海外でも歯科医療の最先端で活躍しています。卒業後は1年の歯科医師臨床研修医期間を経て，歯科医師として病院に就職する他，個人開業医になるなど，さらにはより高いレベルの知識，技術を身に付けるために大学院に進学，もしくは研究生への進路も用意されています。なお就職については，毎年就職希望者の約7倍近くの求人があります。

仕事の現場，世界で活躍する卒業生について p.33 ～ 34

Q 国家試験に合格できるか不安です。

A 歯学部の学生にとっての最終目標ともいえるのが毎年実施される歯科医師国家試験の合格です。大学での講義，実習をマスターしていれば，十分に合格レベルに達することができます。

国家試験合格率について p.18

Q 奨学金のことについて教えてください。

A 日本学生支援機構の奨学金をはじめ，本学部独自の奨学金や提携教育ローンなど，様々な制度を利用することができます。

奨学金について p.26

Q クラブと勉強の両立は可能ですか？

A 本学部では，約8割の学生がクラブに所属しています。練習の頻度等はクラブによって異なりますが，どのクラブも学業優先を念頭に活動していますので，両立は十分可能です。クラブ活動を通じて，学年を超えた繋がりを持つことができ，勉強面においても協力し合うことのできる貴重な仲間となるでしょう。

クラブ活動について p.22

Q 学生は松戸歯学部付属病院を受診することはできますか？

A はい，できます。校友会に入会し，校友会準会員診療費助成申請書を学生課に提出すれば，支払った診療費が後日返金されますので，学生は実質無料で受診することができます。付属病院には歯科関係の診療科はもちろんのこと，内科・耳鼻咽喉科などの医科の診療科もあります。

付属病院診療科について p.10

学生寮「バンデリアン松戸」

松戸歯学部への通学に便利な場所に位置している日本大学直営の男子学生寮です。詳細は，日本大学ホームページを御覧いただくか，下記にお問い合わせください。

お問い合わせ先：日本大学学生部
TEL 0120-130-515（月～金 10:00 ～ 16:00）

大学院

最先端の機器が充実した環境で
追究したい専門領域を深く掘り下げる

大学院 松戸歯学研究科の概要

日本大学大学院松戸歯学研究科は昭和52年に設置されました。現在，発育発達全身疾患学系，口腔病態制御学系，組織細胞再生学系，先端材料修復学系，口腔顎脳再建学系，病態診断検査学系の6つの学系のもとに23の専攻学科目があります。大学院には科学する能力をもった臨床医を育てることと，未来の歯科医学を担う教育・研究指導者を育てる目的があり，様々な最先端の機器が充実した研究に最適な環境で，追究したい専門領域を深く掘り下げ，さらに専門性を高めることができます。

幅広い視野を養う海外交流が活発

大学院生や教職員を対象に，国内外の著名な研究者を招いた特別講義を年に約10回開催しています。また，大学院海外派遣奨学生制度では，年に1名以上，1年間の派遣期間で，海外の大学や研究所で専門分野の研究を深めることができます。

研究活動を支えるフォロー体制

国内の他大学院や研究所にて授業科目を履修し，研究指導を受けることも可能です。これら派遣先での研究成果や教育機関での履修実績も大学院の単位として認められます。また，国内外の学会で研究発表を行う場合の奨学金給付制度など，研究活動を支える基盤があります。

〈教育研究上の目的〉

教育研究理念

自主創造の能力を養い，高い倫理観と省察力を有し，豊かな専門知識と問題解決能力に基づく研究，教育，臨床を通して，生涯に渡り人類の福祉と健康に貢献する人材を育成する。

目標

人類の福祉と健康から社会へ貢献し続けるために歯科医学の専門知識を身に付け，多様な価値，自己の立場・役割，日本の文化を理解し，高い職業倫理と世界への発信力を備えた研究・教育者，科学する力を持った臨床家を育成する。

教育方針

- ディプロマ・ポリシー
- カリキュラム・ポリシー
- アドミッション・ポリシー

＊詳細はこちらをご参照ください。

■ 専攻学科目一覧

発育発達全身疾患学系	小児歯科学	歯科矯正学
	障害者歯科学	歯科麻酔学
	医科病態学	
口腔病態制御学系	歯周治療学	生化学・分子生物学
	微生物学・免疫学	薬理学・歯科薬理学
	衛生学	
組織細胞再生学系	組織・発生学	生理学
	歯内療法学	
先端材料修復学系	歯科生体材料学	保存修復学
口腔顎脳再建学系	有床義歯補綴学	顎機能・冠橋義歯補綴学
	顎顔面・口腔外科学	
	解剖学	
病態診断検査学系	歯科臨床検査医学	放射線学
	口腔診断学	口腔病理学

MESSAGE　宮崎（みやざき）　樹梨（じゅり）さん

貴重なデータや最新設備が揃う環境で，専門的な知識をさらに深める。

父が大学病院で研究，論文の執筆をしていたため，早い段階から大学院への進学を視野に入れていました。また，本研究科では近隣の小学校の協力を得て，経年的に児童の資料採得を行っており，貴重なデータを使用して研究を行える環境も魅力的でした。私の専攻は歯科矯正学で，小児の成長過程を追ってデータを取ることは，これからの矯正の治療や診断において非常に重要です。現在はそうした研究に携わることができているので，大きなやりがいを感じています。私は他大学の出身ですが，松戸歯学部はとてもアットホームな雰囲気です。わからないことや困ったことがあれば熱心に指導してくださる先生ばかりで，いつも助けられています。研究設備も最新のものが整っており，学生生活を送る上で恵まれた環境だと思います。今後は大学院で学んだ歯科矯正などの知識を活かし，患者様のお役に立てればと考えています。

大学院の先端設備

レーザーイオン化飛行時間型質量分析装置

AXIMA-CFRは，細胞や組織において発現しているすべてのタンパク質を，微量な検体から迅速かつ確実に網羅的に解析・同定する装置です。島津製作所の田中耕一氏が開発に成功しノーベル賞を受賞されたことで知られています。タンパク質をペプチドに消化後，レーザーをあてることでイオン化させ，検出器までに届く時間の差で多種のペプチドの質量を同時に検出し，もとのタンパク質を推定することができます。

近赤外線分光法(Near-infrared spectroscopy：NIRS)実験装置

脳機能の解析は口腔科学の重要な研究分野のひとつです。この実験装置はヒトの脳機能のイメージングに用いられており，脳の神経活動に伴う血流の変化を指標としています。生体への透過性が高い近赤外線を用いており，被験者への負担が少なく安全性が高い装置です。

GeneChip遺伝子解析装置

GeneChipは，1/2インチ平方あたり数十万種類に及ぶ遺伝子プローブをアレイ上で合成した，他に類を見ない高密度マイクロアレイです。ヒト，マウス，ラットを中心に多くの生物種の遺伝子配列の変異や遺伝子発現の変化を一度の実験で確認できます。

■ 入学試験（一般・社会人入試）要項

		入学試験（第1期）	入学試験（第2期）
募集人員		10名（定員の範囲内で社会人含む）	20名（定員の範囲内で社会人含む）
出願期間		令和5年8月21日（月）～9月1日（金）	令和6年1月22日（月）～2月2日（金）
選考日		令和5年9月9日（土）	令和6年2月17日（土）
合格発表日		令和5年9月20日（水）	令和6年2月28日（水）
入学手続締切日		令和5年10月13日（金）	令和6年3月11日（月）
出願資格	共 通	①大学における医学，歯学または修業年限6年の獣医学及び薬学を履修する課程を卒業した者または令和6年3月までに卒業見込の者。 ②外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，獣医学または薬学）を修了した者または令和6年3月までに修了見込の者。 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，獣医学または薬学）を修了した者または令和6年3月までに修了見込の者。 ④わが国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，獣医学または薬学）を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。 ⑤文部科学大臣の指定した者。 ⑥大学の医学を履修する課程，歯学を履修する課程，獣医学を履修する課程または薬学を履修する課程に4年以上在籍した者（これに準ずるものとして文部科学大臣が定める者を含む）であって，本大学の定める単位を優れた成績をもって修得したと認めた者。 ⑦本大学院において，個別の入学資格審査により，大学（医学，歯学，修業年限6年の獣医学及び薬学を履修する課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和6年3月31日までに24歳に達する者。 ⑧その他，本研究科が特に認めた者。	
	社会人	官公庁，研究所，病院，歯科医院等にすでに勤務し，勤務成績が優秀であり，入学後もその職を有する者，または令和6年5月1日までに勤務予定の者。 歯科医師臨床研修医制度における臨床研修歯科医は含まない。	
備考		⑴出願資格②～⑦及び⑧で出願する者は，あらかじめ本学松戸歯学研究科（教務課）まで問い合わせること。 ⑵専攻学科目によっては歯科医師国家試験の合格が必要条件となりますので，本学松戸歯学研究科（指導教授又は教務課）まで問い合わせること。	
出願書類	共 通	①大学院入学志願票（本学所定の用紙） ②成績証明書 ③卒業証明書，または卒業見込証明書 ④研究計画書（関心をもつ分野，研究計画，将来の目標等を記載したもの）（本学所定の用紙） ⑤出願資格②～⑦及び⑧で志願する者は上記書類の他に次の書類を提出すること。 ⑴ 経歴書（本学所定の用紙） ⑵ 自己推薦書（本学所定の用紙） ⑶ その他本大学院で定める書類 ※なお，出願後に本大学院が必要と認めた場合は，健康診断書の提出を求める場合がある。	
	社会人	①経歴書（本学所定の用紙） ②勤務先の承諾書（本学所定の用紙） ③勤務先等の所属長の推薦書（任意様式）	
入学検定料		40,000円	
選考方法		学力検査：**専門科目**（50分，100点満点） 面接試験：**①一般面接**（50点満点）**②専門面接**（50点満点）	

学費

■ 学費（令和5年度参考）

	前学期		後学期
	入学時納入金（前学期分）		
	学内者	学外者	
入学金	—	200,000円	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円
施設設備資金	—	500,000円	—
校友会準会員会費	10,000円	10,000円	—
合計	360,000円	1,060,000円	350,000円

【2年目以降】

	前学期	後学期
授業料	350,000円	350,000円
校友会準会員会費	10,000円	—
合計	360,000円	350,000円

（備考）1 表中に記載の（学内者）は，日本大学出身者をいう。
2 表中に納入金以外に，修了年度に正会員会費初年度分を1万円納入。

卒業生からのメッセージ

卒業生インタビュー

仕事の現場

7期生 飯塚 光宏 飯塚歯科医院

38期生 飯塚 紀仁 おがわ歯科クリニック

地域のかかりつけ医として親子で歯科医療に取り組む，松戸歯学部の卒業生にお話を伺いました。

北関東で三代にわたり歯科医院を経営しています。

光宏先生：飯塚歯科医院の飯塚光宏です。当院は1941年の開業以来，80年以上にわたり町のかかりつけ医として診療を続けています。私は当院の三代目として院長を勤めて来ました。それがこの度，息子の紀仁に医院を継承することになり，いま準備の真っ最中です。

紀仁先生：飯塚紀仁です。大学院卒業後，放射線科に入局しX線画像を読影する科に所属していました。今回医院を継承するにあたり，その経験を活かして診察に画像診断を取り入れていこうと考えています。高度な医療技術を取り入れることでより精密な診断・治療が可能になるので，患者さんにますます貢献できるのではないでしょうか。

光宏先生：現在，歯科用CTの導入を計画しているのですが，画像診断を通じて近隣の先生方との協力体制もより強化できると期待しています。今後は地域でのかかりつけ医であるとともに，中核的な役割も担っていけるのではないでしょうか。

紀仁先生：また，自分の専門領域を活かすだけでなく，地域のニーズに合わせた治療にも取り組んでいきたいと考えています。例えば飯塚歯科医院のある街は，ご高齢の患者さんが多く暮らしていますので，義歯に関わる治療も積極的に進めていきたいです。

光宏先生の勤務スケジュール

8:00	9:00	12:30	13:00	14:00	19:00	20:00
出勤 滅菌作業開始 技工指示書	朝礼 カルテ準備 診療機材・材料の準備	診療	カルテチェック	お昼休み	診療	診療終了 機材器具の消毒・滅菌作業 院内清掃 カルテチェック	退勤

※土曜日17:30より，1週間の診療を振り返ってスタッフミーティング

歯科医師のリアルと，求められる資質とは。

光宏先生：歯科医師は医学的・技術的な進歩に置いて行かれないように，研鑽を惜しまない姿勢が大切です。スタディーグループ，セミナー等に積極的に参加し，学び続ける気持ちを持ち続けてください。また，患者さんの思いを汲み取り信頼関係を構築するには，コミュニケーション能力が重要です。患者さんが求める事とこちらの治療内容にズレがあれば医療安全に関わる事案に発展することもあります。私は初診時になるべく時間をかけて，口腔内の状況や治療内容の説明をすることで，コミュニケーションがとりにくいタイプの患者さんや，治療にネガティブなイメージをお持ちの患者さんとも信頼感を築くよう心がけています。

紀仁先生：医療において失敗は許されないことです。患者さんにはさまざまなバックグラウンドがあり，それを見極めて最善の治療を提案していくことがやりがいの感じるところです。また，画像診断に限らず，治療の幅の広さというのは歯科医師にとって，とても重要なスキルだと考えています。自分にできない治療があったために，患者さんの治療の選択肢を狭めてしまうことが決して無いよう，日々努力しています。

紀仁先生の勤務スケジュール

9:00	13:00	14:30	18:30	19:00	20:00
出勤 ミーティング	診療	お昼休み	診療	診療終了	ミーティング	退勤

受験生のみなさんへ，先輩歯科医師としてアドバイス。

光宏先生：臨床ではオールマイティーな治療が要求されますが，一つでも専門分野を習得しておくことは歯科医師としての自信に繋がります。学ぶことと経験を積むことで診療の幅はさらに広がり，充実した診療の日々を送れると思いますので，これからも夢と希望を持って頑張ってください。また，生命を預かる職業ですので，常にその点を心にとめ，努力してほしいと思います。

紀仁先生：歯科医師は医師と違って患者さんと接する時間が長いので，特にコミュニケーション能力が求められます。さらに新しい治療や材料が次々に出てきますので，それらの情報に乗り遅れないように知識のアップデートも必要です。また，開業を志すならリーダーシップも問われます。勉強は大変ですが気持ちを強く持って，松戸歯学部での学びをぜひ将来に役立ててください。歯科医師は本当にやりがいがある職業です。

世界で活躍する卒業生

よこお さとし
横尾 聡

11期生

群馬大学大学院医学系研究科
口腔顎顔面外科学講座・
形成外科学講座 教授

医学の一分野としての歯科医学を追求して

歯科医学は歯や歯茎だけではなく，口・顎・顔面・その隣接組織に現れる病気を学ぶ学問です。この領域の異常は，食事や会話が上手にできなくなるなどの機能障害や美容的な障害，すなわち人間として重要な「社会性」の喪失を来してしまいます。自然科学の急速な発展で変化した社会生活，思考，疾病構造などに調和したこれからの歯科医学は，歯学ではなく「医学の一分野としての歯科」という医療体系へ変化すべきと考えています。この考え方は，在学中に「口腔科学」を根底に置いた講義を受ける中で自然に培われました。私の専門は口腔外科学ですが，歯学の中の口腔外科という狭い捉え方ではなく，松戸歯学部で学ぶ皆さんには医学の中の歯科医学・口腔科学を根底に置き，広い視野で患者を診る事のできる歯科医師，口腔科医師になって欲しいと思います。

うざわ かつひろ
鵜澤 一弘

15期生

千葉大学大学院医学研究院
口腔科学講座教授

必要とされる次世代の歯科医師に

川の源流が汚染されると，下流をいくらきれいにしてもその川は健全な河川とはなりません。口腔はまさに全身の源流であり，口腔健康の門番が紛れもなく歯科医師です。また，全身疾患の一症候が口腔に現れることも少なくなく，原疾患の第一発見者が歯科医師となることもあります。私は，松戸歯学部の「口腔と全身」に重きをおいた教育を受け，卒業後は，千葉大学で口腔外科の道を歩んできました。米国ノースカロライナ大学に留学し，様々な組織・病変のコラーゲン研究を通して，基礎研究の視点からも歯科医学を見つめるようになりました。次代の歯科界を担えるのは，まさに全身や基礎研究に明るい歯科医師です。松戸歯学部には，伝統的にこうした人材を育成する活発な雰囲気と，それを推し進める経歴・経験の豊富な教員が揃っています。受験生の皆さんは，こうした社会のニーズに応えられる次世代の歯科医師を目指してもらいたいと思っています。

みやもと たかなり
宮本 貴成

23 期生

アメリカクレイトン大学 歯周病科
教授

世界で通用する歯科医師へ

私は1994年に日本大学櫻丘高校を卒業し，同年，日本大学松戸歯学部に入学しました。その後ボストン大学大学院に進学し，現在はアメリカネブラスカ州のクレイトン大学で主任教授として学生教育や研究に携わっています。日本で歯科医師といえば「歯科医師過剰問題」など様々な問題がとり挙げられているようです。しかし世界に目を向けると，歯科医師という仕事は健康を追求し，多くの方々の生活のクオリティーを向上することができる，魅了的で社会から尊敬されている重要な職業のひとつと位置づけられています。在学中から感じていたのですが，松戸歯学部はグローバルな視点から非常にユニークな歯科医学教育を行っています。卒業後海外で活躍している卒業生も数多くいます。受験生の皆さんには歯科医師という職業をグローバルな視点から考えていただけたらと思います。

こが ようこ
古賀 陽子（旧姓 河瀬）

23 期生

東京女子医科大学
歯科口腔外科学講座
口腔顎顔面外科学分野教授

自分流の道を切り拓ける人生観を培う

「自立できる自分でありたい！」と希望に満ちて1993年の春に入学。教養から臨床まで一連の流れで学び，最新トピックスを盛り込んだ生きた講義は進路決定にも大いに役立ちました。私は口腔外科に興味を持ち，卒業後は東京大学医学部口腔外科で2年間研修。そして東京大学大学院に進学し，医学博士を取得後，米国コーネル大学医学部で研究員として3年半過ごし，帰国後は口腔外科医として手術と実験に明け暮れる充実した日々を過ごしています。常に前を向き何事も諦めずに取り組む姿勢は大学生活で培いました。グローバル社会に向けて学生主導型の教育を行う松戸歯学部は，世界に通用する学部だと確信しています。かけがえのない友人を持てたことや，縦の繋がりが強いことも松戸歯学部だからこそ。受験生には夢に向かって大きな一歩を踏み出し，自分流の道を切り拓いて欲しいです。